

企画展 Arts Towada 十周年記念「インター＋プレイ」展 第3期

本市出身の映像作家 水尻^{よりこ}自子と漆彫刻家 青木千絵による新作を公開

現代美術館では、Arts Towada 十周年を記念した全3期にわたる展覧会「インター＋プレイ」展を開催しています。その最後を飾る第3期では、本市出身の映像作家水尻自子と漆彫刻家 青木千絵の作品を展示します。

水尻自子のアニメーション作品は、鑑賞者の触感や痛覚を刺激し、まるで視覚で物に触れているような感覚を呼び起こします。本展の作品はミュージシャンの本田ゆかが音楽を担当し、十和田のために制作された新作です。

一方、漆を用いた青木千絵の彫刻作品は、身体をモチーフにし、体の内側にたまった感情が外側の身体へと現れ、覆いつくすような造形です。身体を覆う幾重にも重ねた漆の鏡面には、奥にのみ込まれるような深みがあり、鑑賞者を作品の内側に引き寄せます。展覧会では新作と旧作を組み合わせて展示します。

また、第2期のトマス・サラセーノの展示の一部や、通年展示の鈴木康広《はじまりの果実》、目[mé]《space》は、引き続き展示し、問題行動トリオによるパフォーマンスも会期中に開催します。



水尻 自子 《不安な体》2021年
©MIYU Productions, New Deer, Yoriko Mizushiri



水尻 自子

映像作家。1984年十和田市生まれ。体の一部や身近な物体をモチーフにした触覚的なアニメーションを制作する。



青木千絵 《BODY18-2》2018年
撮影：池田ひらく



青木 千絵

漆彫刻家。1981年岐阜県生まれ。金沢美術工芸大学大学院博士課程修了。現在、同大学助教。漆の持つ深い艶から創造への意欲をかき立てられ、人間の存在をテーマに作品制作を始める。人体と抽象形態が融合した独特のフォルムを追求している。

アーティスト・トーク 水尻自子、青木千絵

とき 1月22日(土) 午後1時～2時30分

ところ 現代美術館 休憩スペース (カフェ)

※参加には企画展チケットが必要です。

1月10日(月)は現代美術館常設展示市民無料デー

マイナンバーカード、免許証や保険証など住所が確認できるものを受付に提示してください。

市民無料デーに合わせて、次のイベントを開催します。

《学芸員による解説》とき：午前11時～正午

定員：10人(事前予約制・先着順)

※企画展チケットが必要です。

《げんびサポーターと一緒に作品をみよう》とき：午後2時～3時

定員：5人(事前予約制・先着順)

◆1月11日(火)～21日(金)はメンテナンスのため休館です。



～上十三・十和田湖広域定住自立圏情報～



上十三・十和田湖広域定住自立圏内のイベント情報をお届けします♪

三沢市

冬のおすすめアクティビティワカサギ釣り

ワカサギの宝庫「姉沼」でワカサギ釣りが楽しめます。駐車場、トイレも完備、釣り用品のレンタルも出来るので、初めての人でも気軽に楽しめます。

▶とき 結氷後 例年1月下旬～3月中旬

▶ところ 三沢市姉沼

※詳しくはお問い合わせください。

問 青森フィッシングガイド

☎090-3506-6608

六戸町

メイプルタウンイルミネーション

住民みんなの手でイルミネーションのレイアウトから飾り付けまで行いました。ぜひご覧ください。

▶とき 開催中～2月28日(月)

日没～午後10時

▶ところ 六戸町立図書館前「いこいの広場」

問 メイプルタウンイルミネーション設置実行委員会 ☎05511

